

## 2009 年度極地雪水分科会総会資料 国際機関の動向

### NEEM (North Eemian Ice Core Project, 北グリーンランド深層掘削計画)

- ・2009 年は 5 月から 8 月末前のシーズンに約 100 m～1758 m の深度の掘削を実施。これは、氷床コア掘削の歴史上、1 シーズンにおける最高記録。
- ・日本からは、5 名（東信彦：掘削、宮本淳：コア現場処理、倉元隆之：CFA、植竹淳：コア現場処理、東久美子：CFA）が交代で参加。
- ・ガス分析、イオンクロマト分析のサンプルが近々日本に到着予定。
- ・物理解析、生物解析、<sup>10</sup>Be、ブラックカーボン分析用のサンプルについては、2009 年 11 月の NEEM 運営会議（コペンハーゲン）で申請予定。

### IACS (International Association of Cryospheric Sciences)

- ・会長が Georg Kaser（オーストリア）から Ian Allison（オーストラリア）に交代。
- ・モントリオールでの IAMAS/IAPSO/IACS 会議を開催。
- ・会議の会期中に総会を実施し、IACS の紹介を行い、今後の活動予定について意見交換。
- ・2009～2010 年にかけて 2011 年のメルボルンにおける IUGG 総会のプログラムを検討。
- ・2012 年に IAMAS と共同でスイスのダボスにおける学会を予定。

IAMAS: International Association of Meteorology and Atmospheric Sciences

IAPSO: International Association for the Physical Sciences of the Oceans

### AFoPS (Asian Forum for Polar Sciences)

- ・7 月 8 日～10 日上海にて会合。議長は中国極地研究所長。雪氷としては動きなし
- ・日本の 51 次南極観測隊へ AFoPS 活動の一環として、韓国から 1 名（エンジニア、雪氷・掘削、ドームふじへ）、タイから 2 名（生物の研究者と報道）が参加する。

中国

- 中国の南極観測隊は今シーズンもドーム A（崑崙基地）へ遠征。
- 来週、中国極地研究所にてドーム A での深層掘削の検討会を行う。
- 日本からは掘削技術委員会から高橋、田中が参加。

インド

- 中央ドローニングモードランドにて 500-1000m 掘削を計画。
- 今シーズンは掘削地点を見つけるべくトラバース観測を行う。
- 掘削機購入に関しては日本に打診あり。
- 北極での氷河掘削も計画中。

韓国

- 韓国極地研究所はモンゴルのアルタイ側で氷河掘削を 2 年前から実施している。
- 最初は中国のドリルで 30m ほどでスタック。昨年度からドリル開発を韓国で始めた。

- ・来週、韓国極地研究所にてアジア山岳氷河掘削・研究に関するワークショップを開催。
- ・日本からは5名（新堀、田中、的場、植竹、本山）が参加。
- ・来年もモンゴルでの掘削が計画されている。
- ・南極観測に関しては、観測船の就航と第2韓国基地構想で盛り上がっている（？）。

#### IPICS(International Partnerships in Ice Core Sciences)

- ・2009年7月9日-10日にオレゴン州立大学で年次会議。
- ・日本からは本山、川村（極地研）が参加。
- ・4つのプロジェクト（oldest ice, bipolar 50K, 2K network, NEEM）に分かれて計画検討。
- ・アジアからは韓国とインドと日本が参加。中国は欠席。

#### IGS(International Glaciological Society)

- ・2009年7月にイギリス・ニューキャッスルで IPY に関する国際シンポジウム開催
- ・2010年に札幌でシンポジウム”Snow, Ice and Humanity in Changing Climate”を開催